

ソリューション提供事業を旨として

Focusing Efforts on New Solution Business Activities

山下 勝比拡
YAMASHITA Katsuhiko

コンピュータ分野におけるオープン化と急激な技術の進展、各ビジネス領域でのボーダーレス化の加速に伴い、システムインテグレーションにおける顧客へのソリューション提供のありかたも大きく変わりつつあります。従来にも増して、短納期、グローバル性、オープン性、低価格が求められ、さらに、急速に変ぼうする情報技術に追従するためにシステムの運用・保守などの技術者リソース、支援サービスへの要求も高まってきました。この変化に対応するため、当社は新たな対応を加速中です。すなわち、サービス提供の範囲をシステム構築中心からコンサルテーション、技術支援、開発支援、システム運用、システム保守へと拡大しつつあります。

1996年にオープン技術支援のためのインフォメーションサービスセンターを開設し、ヘルプデスクサービスを開始しました。さらに、98年度からはアプリケーション保守を担当する専任組織を稼働させました。これによりシステム運用後のユーザー支援を強化しました。また、97年度にはシステムインテグレーション技術センターを開設し、オープン化時代に対応したSI (System Integration) 関連の先端技術の研究・開発、調査・評価を行っています。従来の業種対応の技術部隊に加え、顧客の物件に密着して、オープン系のプラットフォーム構築技術に重点的に対応する部隊も組織化しました。

98年1月に発表したC Solution体系の下に、より速く、より信頼性が高く、よりオープンなシステム開発を旨としています。C Solutionでは、個別のソリューション実現のために業界標準(DFS)の各種ソフトウェア部品やパッケージの組合せを核として活用します。その組合せは、事前検証された信頼度の高いものです。また、CORBA (Common Object Request Broker Architecture) などのオブジェクト技術も導入しオープン性やネットワークへの対応をより強化します。さらに、システムエンジニア(SE)のソリューション提供力を高めるために97年度からSE資格認定制度を導入し、教育体系も整備しました。業種・業務に精通したSE、共通技術に精通したSEの育成強化を進めています。

以上の活動を今後さらに加速し、顧客満足度の高いソリューション提供を旨としています。